

～公共施設のあり方を市民とともに考えます～ 公共施設の現状と課題をお知らせします

現状と課題のまとめ、有効活用の必要性

【公共施設の現状と課題のまとめ】

「高浜市公共施設マネジメント白書」では、集会施設などの「用途別」の課題の整理や、小学校区ごとの「地域別」の実態把握を行いました。

用途別課題整理

【集会施設】

- ・機能が重複している
- ・稼働率が低い

【図書館】

- ・海拔が低い地域に立地している

【スポーツ施設】

- ・体育センターの耐震安全性の確保が必要である

【学校施設】

- ・建物の老朽化が進んでいる

【高齢福祉施設】

- ・建物の老朽化が進んでいる

【幼稚園・保育園】

- ・建物の老朽化が進んでいる

【庁舎など】

- ・市役所の耐震安全性の確保が必要

地域別実態把握

【吉浜地域】

- ・将来人口が増加傾向
- ・施設面積が少ない

【翼地域】

- ・年少人口の割合が高い
- ・将来人口が増加傾向

【高浜地域】

- ・高齢化が進んでいる
- ・施設が集中している

【高取地域】

- ・年少人口の割合が高い
- ・施設面積が少ない

【港地域】

- ・高齢化が進んでいる
- ・スポーツ施設の集積

【公共施設の有効活用の必要性】

現状と課題の整理をとおして、高浜市の公共施設は、全体的に老朽化が進行しており、稼働率が低い施設や機能の重複した施設があることがわかりました。

今後の財政見通しでは、既存の公共施設のすべてを現状のまま維持することは困難な状況です。将来の人口動態や市民ニーズの変化に伴う行政サービス需要の変化、市内の公共施設の配置バランス、機能などを踏まえた総合的な視点での優先順位付け、選択と集中により限られた資源を効果的に活用する必要があることから、今後の公共施設のあり方における全体方針を検討することが必要です。

【高浜市公共施設あり方計画策定に向けて】

「高浜市公共施設マネジメント白書」から見えてきた現状と課題に基づき、今後40年間を見据え、行政サービスの低下を招くことがないように留意しながら、行政サービスのあり方や、公共施設マネジメントの全体方針となる「高浜市公共施設あり方計画」を策定します。

「高浜市公共施設あり方計画」の構成

(1) 公共施設マネジメント基本方針

将来に向けた公共施設の改善策などを取りまとめた全体方針、用途や地域の区分に応じた方向性を定めます。

(2) 公共施設改善計画

公共施設マネジメント基本方針に基づき、公共施設の総量圧縮、機能移転などを踏まえた複数の改善案を取りまとめます。

(3) 公共施設保全計画

公共施設改善計画に基づき、対応年数の長寿命化、コストの平準化を考慮した保全スケジュールなどのアクションプラン(実施計画)を取りまとめます。



問合せ先 市役所経営戦略グループ ☎52-1111(内線375)